

Press Release

2023年11月7日
山形大学 農学部
東北公益文科大学
鶴岡工業高等専門学校
株式会社荘内銀行

魅力ある庄内地域づくりに関する連携協定を締結

～庄内を若者が定住したいと思える、元気で活力のある魅力的な地域にすることを目指して～

山形大学農学部、東北公益文科大学、鶴岡工業高等専門学校及び株式会社荘内銀行（以下、「荘内銀行」）の4者は、魅力ある庄内地域づくりに関し、相互に連携して活動するため、本日、連携協定を締結しました。

本協定は、庄内地域を若者が定住したいと思える、元気で活力のある魅力的な地域にすることを目指し、4者それぞれが互いに有する強みや資源を活かしながら、地域社会が抱える課題の解決に取り組むとともに、SDGs（持続可能な開発目標）が掲げる「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、協力して行動していくことを目的としており、次の事項について相互に連携して活動することとしています。

- (1) 人材育成等「ひとづくり」に関すること
- (2) 空き家・空き店舗の活用、働き方改革やDX推進、再生可能エネルギー・次世代燃料推進や省エネ等を通じた脱炭素社会形成に関すること
- (3) 若者定住や創業支援、人財の活躍を促す「しごとづくり」に関すること
- (4) 人口減少社会においても、地域の人々が幸福を感じられる「まちづくり」に関すること
- (5) その他これらに関する事項

また、本協定締結を受け、荘内銀行営業推進部に「連携推進事務局」を設置し、各校との連絡窓口や企画の検討・推進、各校と地元企業・進出企業等とのマッチング等、連携協定を推進するに必要な事項の事務局を担います。

地方においては、人口減少、高齢化の進展等により地元企業の人手不足感が根強いことに加え、魅力的な働き場所や教育・自己啓発の機会が少なく、多様な働き方を求める人材が流出する等、労働力不足が顕在化しており、経営者の後継者不足も相俟って、企業活動の停滞、基幹産業の衰退に拍車がかかることも懸念されます。また、社会活動においては、集落機能や生活・行政サービス、社会インフラの維持が困難になり、コミュニティを存続できなくなる等、社会課題が深刻化する恐れもあります。

この協定を締結して、庄内が誇る高度な「知の拠点」と産学金コーディネーターの実績を有する地域金融機関の連携によるヒトの交流と知・情報の結集により、地域課題の解決策や魅力ある地域づくりに必要な具体的アイデアを、地域の産学官金を巻き込んで実行に移し、庄内の未来を、若者が夢を実現できる持続可能な社会とすることを展望し、共に行動してまいります。

【各者の概要】**■山形大学 農学部**

| | |
|-----|----------------|
| 所在地 | 山形県鶴岡市若葉町 1-23 |
| 代表者 | 学部長 村山 秀樹 |

■東北公益文科大学

| | |
|-----|------------------------|
| 所在地 | 山形県酒田市飯森山 3 丁目 5 番地の 1 |
| 代表者 | 学長 神田 直弥 |

■鶴岡工業高等専門学校

| | |
|-----|-----------------|
| 所在地 | 山形県鶴岡市井岡字沢田 104 |
| 代表者 | 校長 太田 道也 |

■株式会社荘内銀行

| | |
|-----|---------------------|
| 所在地 | 山形県鶴岡市本町一丁目 9 番 7 号 |
| 代表者 | 頭取 松田 正彦 |

以 上

<お問い合わせ先>

山形大学農学部：0235-28-2803

東北公益文科大学 教務学生課：0234-41-1116

鶴岡工業高等専門学校 総務課：0235-25-9014

株式会社荘内銀行 営業推進部コンサルティング営業室：023-626-9019